

ドラコン女王が初V

ボディビルでも九州チャンプ

PO制し、長崎県勢初の栄冠

《第14回九州女子ミッドアマチュア選手権競技》～麻生飯塚ゴルフ倶楽部

3オーバー 75

宇野 菜月（長崎、31歳）



3人によるプレーオフは18番ミドル（356ヤード）を繰り返す方式で行われた。1ホール目に河野あずみ（グリーンランドリゾート）がボギーを叩いて脱落。2ホール目には山本加奈子（ミッションバレー）が同じくボギーで沈んだ。優勝した宇野だけは2ホールとも2オン2パットのパー。最後は2mのパットを決めた。

「まさか優勝するとは。めっちゃ嬉しいです。最後は手が震えていた。落ち着いていないというのが自分でも分かった」

手が震えていてもショットの安定感が優勝をもたらした。河野と山本はいずれもパーオンできなかったものの、宇野は2度ともビデオを見るようなショットを放つ。その土台となっているのが体の強さ。20歳前半には女子のドラコン大会に出場し、日本一に輝いたこともある。「多分270～280ヤードで勝ったと思います」。自己最長記録は340ヤード。「フォローの風すごい打ち下ろし」のホールだったそう。その頃には神戸市でプロを目指していたが、25歳でスパッとやめる。「もう頑張れないと思った。今、考えるとやっていれば」との後悔もある。アマチュア資格の復帰は日本ゴルフ協会（JGA）に申請し、昨年3月に取った。

元々、強靱な足腰に加え、昨年には長崎市内のトレーニングジム「マルヤジム」でトレーナーをする航大さんと結婚。「私のトレーナーです」というご主人の指導もあって2024年7月、宮崎でのボディビルの九州大会で頂点に。「ゴルフに生かせていると思います。下半身が安定し、ドライバーの飛距離も伸びた。主人に感謝しています。ビキニ姿は恥ずかしいけど」と今回の優勝の要因に日頃のトレーニングの成果を挙げた。スクワットは70～80kg。ちなみに握力は左右とも45kgという。



長崎市で生まれ、ゴルフは父・岸川賢司さんの影響で10歳から始めた。長崎明誠高でジュニア時代を送り、前述のように神戸市で研修生として過ごした。ベストスコアは六甲国際GCでの「65」。今大会は初出場での栄冠となり、長崎県勢としても初の女王となった。「取れて良かった。ラウンド中も勝ったら『長崎で初めて』と思いながら回っていた。みんなが喜んでくれて嬉しい。先輩たちもいい人ばかりで」と笑顔を見せた。九州はゴルフとボディビルで1位。ドラコンで日本一。目指すはゴルフでの日本の頂点。「全国では九州というチームになる。出場する九州のメンバー全員でいい結果を出したい。飛距離には自信があります。楽しみです」と平均飛距離260～270ヤードのドライバーを武器に大会会場の京都に向かう。

【写真はプレーオフで優勝した宇野と2位タイの山本】